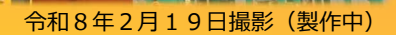


新ガントリークレーン



Port of TSURUGA


福井県

令和9年4月供用開始予定

新しいガントリークレーンを岸壁に据付けます

令和9年4月供用開始予定

敦賀港の鞠山南地区は、コンテナ・R O R O貨物の物流拠点として福井県や背後圏の発展に大きく貢献しております。そのうち、鞠山南A岸壁にはガントリークレーンが設置され、水深も14m確保されていることから5万DWT級の貨物船を接岸させることができます。

今後、大型化する船舶や増加が見込まれるコンテナ貨物へ対応するため、また故障時のバックアップ機能を強化することを目的に、既設ガントリークレーンよりも大型化したガントリークレーンの整備を行っています。

今回、クレーン本体の製作が完了し、現地据付作業を行います。

クレーンの主な仕様

【新設】

◆クレーン型式：ガントリークレーン

◆設置場所：敦賀港 鞠山南A岸壁

◆吊上荷重：50.8 t

◆揚程：45.0m（全揚程）

◆アウトリーチ：38.0m（13列）

◆卷上速度：1.0m/s（60m/min）

◆横行速度：3.0m/s (180m/min)

◆走行速度：0.75m/s (45m/min)

【既設】

◆ガントリークレーン

◆敦賀港 鞠山南A岸壁

◆ 50. 1 t

◆ 36. 0m

◆ 32.0m (10列)

◆ 0.8 m/s (50 m/min)

◆ 2. 5m/s (150m/min)

クレーンの陸揚げ

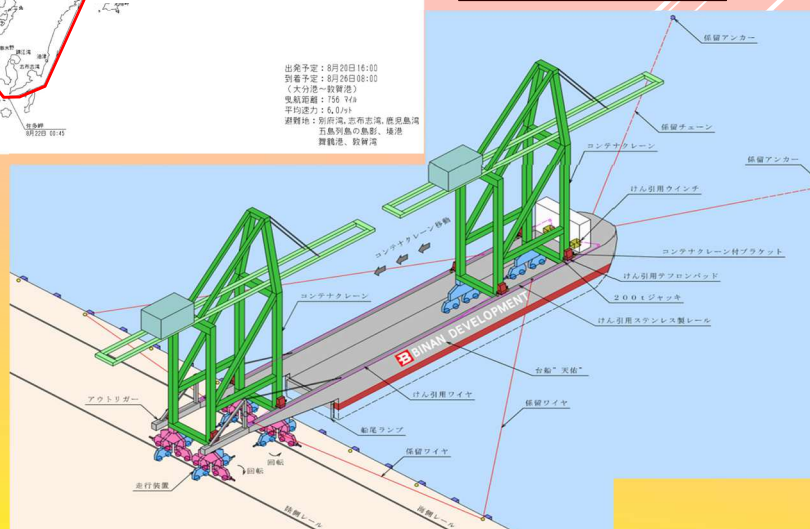
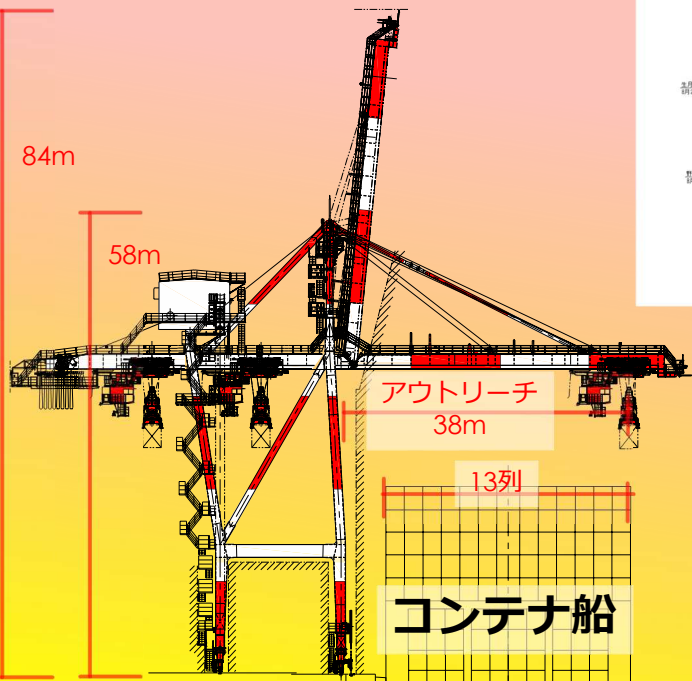
1. ガントリークレーンを製作している大分県の工場を出発し、鹿児島沖経由で約1週間ほどかけて、敦賀港に入港します。
2. 台船を鞠山南A岸壁に縦付け接岸し、台船の高さ調整を行い岸壁とクレーンの高さを合わせます。
3. ガントリークレーンが台船から岸壁に移動して、車輪位置を岸壁にあるレール（軌道）位置に合わせます。
4. ガントリークレーンの車輪の向きをレール方向に整えて、レールに降ろします。
5. 台船の沖だしを行い、ガントリークレーンを所定の位置に据付けて作業完了です。

※上記作業（２～５）で約９時間の工程を予定しています。
（台船再係留時間除く）

輸送ルート→



陸揚げ作業イメージ



台船接岸時



引き込み作業中



陸揚げ完了

